

# 和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第3号(週報)

2011年第3週(1月17日~1月23日)

## ◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

### — インフルエンザ : 患者報告数は大きく増加、今後の動向に注意!! —

県全体の定点当たり患者報告数は、10.08人(前週:3.02人)と大きく増加しました。

すべての保健所管内で患者報告数が増加し、特に、海南、岩出、橋本、湯浅、御坊保健所管内の患者報告が多く、注意報レベル基準値を超えています。

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の第2週の定点当たり患者報告数は、12.09人(第1週:5.06人)と大きく増加しています。また、同センターの病原微生物検出情報(IASR)によると、2010年第50週~2011年第2週の5週間で、全国の地方衛生研究所からAH1pdmが765件、AH3亜型(A香港型)が235件、B型が31件の分離・検出報告があり、AH1pdm(765件)は全体(1,031件)の74%を占めています。この傾向は和歌山県内でも同様で、今シーズンの分離・検出報告は、AH1pdmが45件、AH3亜型(A香港型)が7件となっています。

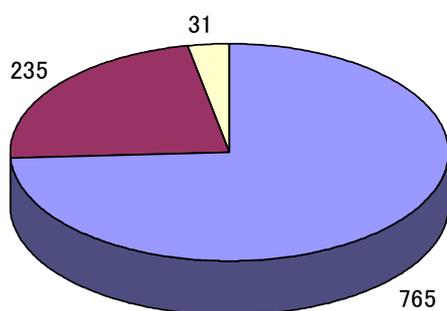
今後、さらに患者報告数が増加すると考えられるため、手洗いやうがいを十分に行い、感染を予防しましょう。また、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、マスクを着用するようにしてください。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人(終息基準値:10.0人)、注意報が10.0人です。(共に定点当たり患者報告数)

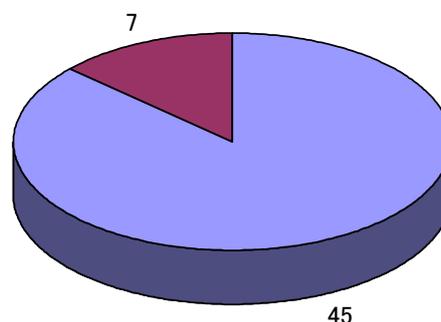
3週前からの定点当たり患者報告数の推移(人)

	今週	1週前	2週前	3週前
和歌山市	9.60	3.67	1.73	0.47
海南	<u>12.33</u>	0.67	1.00	1.00
岩出	<u>15.33</u>	4.00	1.50	1.50
橋本	<u>12.50</u>	5.00	2.50	0.50
湯浅	<u>13.20</u>	1.60	2.20	0.20
御坊	<u>10.00</u>	1.67	2.33	0.33
田辺	4.57	1.86	0.29	-
新宮	5.67	1.67	0.67	-
串本	5.50	4.50	1.00	-

赤字は、注意報レベル基準値超過。



全国



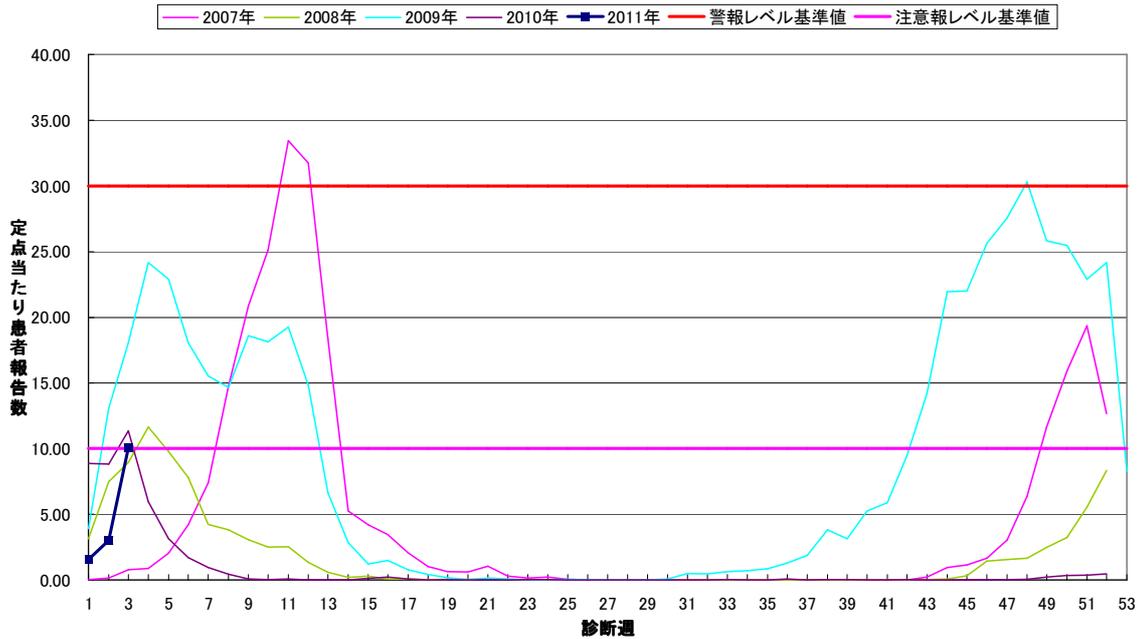
和歌山県

■ AH1pdm ■ AH3亜型(A香港型) □ B型

全国と和歌山県のインフルエンザウイルス分離・検出報告数の比較

(IASRデータより作成。全国は2010年第50週~2011年第2週、和歌山県は今シーズンの累積数。)

### インフルエンザ(和歌山県全体)



#### 一 感染性胃腸炎 : 県全体の患者報告数は減少、新宮保健所も終息基準値を下回る。 一

県全体の定点当たり患者報告数は、5.77人（前週：6.10人）とわずかに減少しました。

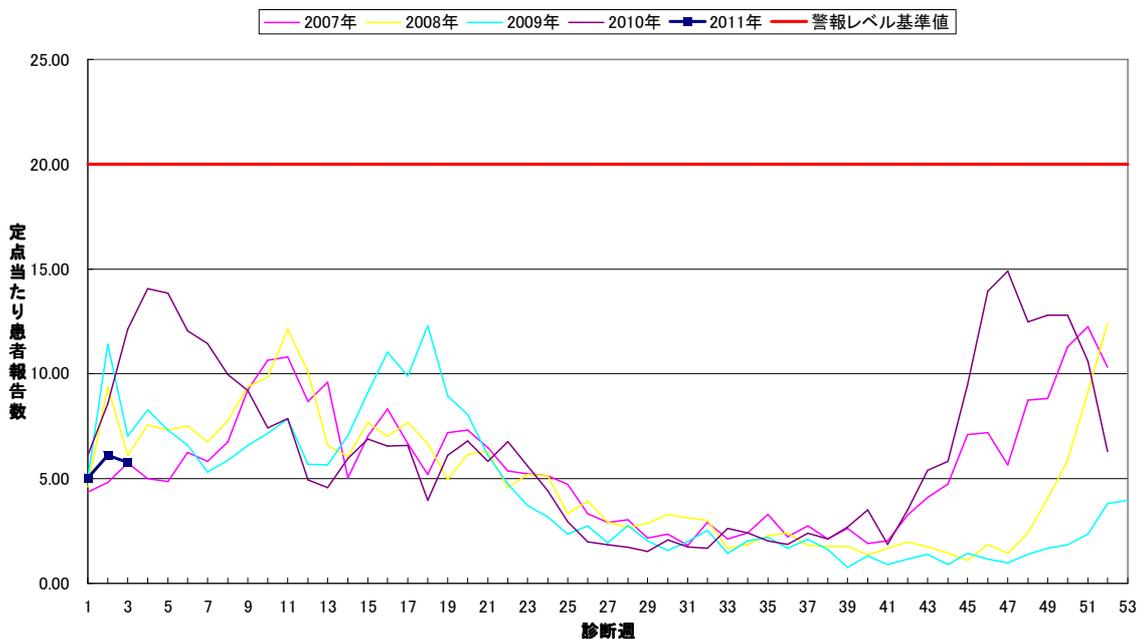
新宮保健所管内の患者報告数も、11.00人（前週：12.00人）と減少し終息基準値を下回りましたが、減少幅はそれほど大きくありません。また前週、患者報告数が大きく増加した海南保健所管内では、今週も12.50人（前週：11.50人）と多いため、今後も動向に注意が必要です。

国が発行している感染症週報第1号（1月3日～1月9日）では、全国の定点当たり患者報告数は7.98人となっています。

例年通りであれば、今後患者報告数は緩やかに減少していくと考えられます。今後も、手洗い等の予防を心掛けて下さい。

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人（終息基準値：12.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値は設定されていません。

### 感染性胃腸炎(和歌山県全体)



－ **流行性耳下腺炎** ： **患者報告数は大きく減少、御坊保健所管内は終息基準値を超えている！** －

県全体の定点当たり患者報告数は、1.19人（前週：2.48人）と大きく減少しました。

保健所別では、御坊保健所管内の患者報告数が、3.00人（前週：2.50人）と最も多くなっており、終息基準値を超えています。また、前週注意報レベル基準値を超えていた、橋本、湯浅、田辺保健所管内の患者報告数は減少し、注意報レベル基準値を下回っています。

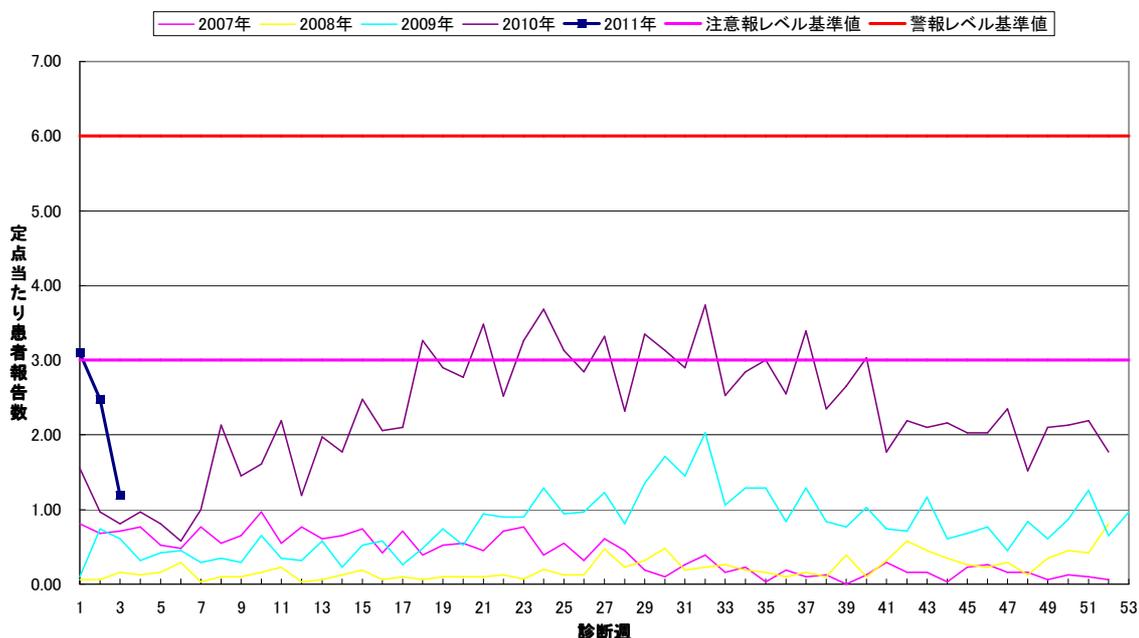
国が発行している感染症週報第1号（1月3日～1月9日）では、全国の定点当たり患者報告数は1.37人で、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）の詳しい説明はこちら

([http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03\\_35.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html))

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



－ **その他の感染症** －

伝染性紅斑：和歌山市保健所管内の患者報告数が2.00人（前週：1.22人）となり、警報レベル基準値（2.0人）を超えました。県全体の患者報告数は、0.71人（前週：0.42人）で、過去5年間の同時期と比較して多い状況です。全国的にも、患者報告数が多くなっています。

水痘：和歌山市、湯浅保健所管内の定点当たり患者報告数が、それぞれ3.22人（前週：2.11人）、3.67人（前週：1.33人）と多くなっています。県全体の定点当たり患者報告数は、2.10人（前週：2.16人）とほぼ横ばいで推移しており、過去5年間の同時期と比較して特に多くはありません。

## ◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

### <届出状況>

当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核 6名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：つつが虫病 1名
- 5類感染症：報告はありませんでした。

第1週から第3週までに県内で診断された全数把握感染症は、結核 13名、つつが虫病 1名です。

## ◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

### <各保健所の警報注意報レベル状況>

#### 警報レベル

- 伝染性紅斑（和歌山市保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（御坊保健所管内）

#### 注意報レベル

- インフルエンザ（海南、岩出、橋本、湯浅、御坊保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	504	5	11	21	17	13	27	34	34	40	30	22	119	35	28	25	25	8	7	2	1
	定当	10.08	0.1	0.22	0.42	0.34	0.26	0.54	0.68	0.68	0.8	0.6	0.44	2.38	0.7	0.56	0.5	0.5	0.16	0.14	0.04	0.02

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	15	7	2	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.48	0.23	0.06	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	7	-	1	1	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
	定当	0.23	-	0.03	0.03	0.06	-	-	-	-	-	0.03	-	0.06	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	24	-	-	-	1	2	4	3	2	4	3	3	2	-	-
	定当	0.77	-	-	-	0.03	0.06	0.13	0.1	0.06	0.13	0.1	0.1	0.06	-	-
感染性胃腸炎	報告	179	1	8	22	17	20	22	23	20	13	7	6	15	2	3
	定当	5.77	0.03	0.26	0.71	0.55	0.65	0.71	0.74	0.65	0.42	0.23	0.19	0.48	0.06	0.1
水痘	報告	65	5	5	9	20	9	10	3	1	1	1	1	-	-	-
	定当	2.1	0.16	0.16	0.29	0.65	0.29	0.32	0.1	0.03	0.03	0.03	0.03	-	-	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	22	-	-	4	-	3	3	4	1	2	2	2	1	-	-
	定当	0.71	-	-	0.13	-	0.1	0.1	0.13	0.03	0.06	0.06	0.06	0.03	-	-
突発性発疹	報告	13	1	6	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.42	0.03	0.19	0.16	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	37	-	-	3	6	2	5	3	4	8	3	1	2	-	-
	定当	1.19	-	-	0.1	0.19	0.06	0.16	0.1	0.13	0.26	0.1	0.03	0.06	-	-



<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	144	37	92	75	66	30	32	17	11
	定当	9.60	12.33	15.33	12.50	13.20	10.00	4.57	5.67	5.50
RSウイルス感染症	報告	1	-	7	1	1	4	1	-	-
	定当	0.11	-	1.75	0.25	0.33	2.00	0.25	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	-	-	-	1	5	-	-
	定当	0.11	-	-	-	-	0.50	1.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	2	-	3	4	1	7	3	4	-
	定当	0.22	-	0.75	1.00	0.33	3.50	0.75	2.00	-
感染性胃腸炎	報告	76	25	27	4	6	-	19	22	-
	定当	8.44	12.50	6.75	1.00	2.00	-	4.75	11.00	-
水痘	報告	29	1	6	5	11	3	7	2	1
	定当	3.22	0.50	1.50	1.25	3.67	1.50	1.75	1.00	1.00
手足口病	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	18	3	1	-	-	-	-	-	-
	定当	2.00	1.50	0.25	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	5	-	1	-	3	-	3	1	-
	定当	0.56	-	0.25	-	1.00	-	0.75	0.50	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	13	2	6	7	2	6	1	-	-
	定当	1.44	1.00	1.50	1.75	0.67	3.00	0.25	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…









### 和歌山県感染症情報（WIDR）2011年第3号

発行日：平成23年1月27日

発行元：和歌山県感染症情報センター

（和歌山県環境衛生研究センター内）

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail [e0318011@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0318011@pref.wakayama.lg.jp)

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

（お問い合わせ先）

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail [e0503001@pref.wakayama.lg.jp](mailto:e0503001@pref.wakayama.lg.jp)

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。